

	病院名	①これまでの コロナ患者の 受入有無	②通常医療の 制限有無	③通常医療を継続するための対応	④想定通り継続できたか。 工夫した点は何か	⑤コロナ患者を 受入していない理由	⑥平時から備えておくべきと考える事項
6	中野区医師会（大 場診療所）	受入れた	全く制限していな い	入院は当院では行っていない。外来は当初は導線 を分けるとのと、診療時間帯を分けた。現在は発 熱外来を別に設けた。	発熱外来を別に設けてからは、通常診療へ の影響がかなり少なくなった。	—	院内体制：感染症対策と休職者の対応、医療連 携（特に病院との連携と保健所との連携）、行 政の対応（法律的問題）
7	全国健康保険協会 東京支部	—	—	—	—	—	限られた医療資源を有効活用するためには、地 域における情報の共有化及び見える化が最重要 とされます。 そのためには、ICTを活用した情報連携システ ムの構築・整備・運用が急務と考えますが、例 えば、現行の基盤である「東京都多職種連携 ポータルサイト」の活用（及び徹底利用）によ り、それらを進めることも対応案の一つと思わ れます。
8	全国設計事務所健 康保険組合	—	—	—	—	—	医療提供体制の確保の他、ワクチン接種による 医療従事者の負担を軽減し、集団免疫を達成す るための一助となるワクチン職域接種の実施体 制を確保しておくこと。
9	杉並区杉並保健所	—	—	—	—	—	地域における医療関係者、行政の連携体制